さいたま国際芸術2023市民プロジェクト「創発inさいたま」

Saitama 2023

「サイトシーイング・バスカメラ」によるカメラ空間体験バスツアー

講師佐藤時啓(写真家)

SYUTA (アーティスト)

石上城行(彫刻家)

場:埼玉大学構内および桜区役所近辺

集 合 場 所:埼玉大学教育学部コモ 1 号館 1 F ギャラリー

(338-0825 さいたま市桜区 下大久保 255)

対 象: どなたでも(各日の定員は最大 40 名まで)

参加 無料



2023年10月21日(土) — 22日(日)

11:00 — 17:00 (受付開始10:30)

がら走るバスです。バスが動き出すと、反転した外の風景が映画を見るように移り変わってゆきます。 埼玉大学のある桜区は、自然環境と住宅地がほどよく入り交じった郊外の街の今回使用するバスは 初秋のひととき、外と内、上下と左右、現実と映像が入れ替わった不思議な世界を体験して みませんか。 なお、乗車体験に併せてカメラの原理を知るためのワークショップ「簡易カ

メラオブスクラづくり(仮)」を行います。 申 込 方 法

国際芸術祭ホームページの申込フォーム「https://teket.jp/7262/26137」から申し込みをお願いします。尚、グループについては事務局で割り振らせていただきます。

スケジュールと定員

10月21日(土)「A グループ」受付10:30 11:00~13:40

「D グループ」受付 13:30 14:00 ~ 15:40

「BC グループ」受付 12:30 13:00 ~ 14:40

10月22日(日)「E グループ 」受付10:30 11:00~13:40

「FG グループ 」 受付 12:30 13:00 ~ 14:40

「H グループ」受付 13:30 14:00 ~ 15:40

佐藤時啓 SATO TOKIHIRO

1957 山形県酒田市に生まれる

1983 東京藝術大学大学院美術研究科修士課程修了

1997 「第6回ハバナビエンナーレ」(キューバ)

1999 「第9回バングラデシュ・アジア・アート・ビエンナーレ」優秀賞受賞

(バ<u>ン</u>グラデシュ)

,2003 「日本写真史展」ヒューストン美術館、クリーブランド美術館 U.S.A.

2005 / Photo-Respiration: Tokihiro Sato Photographic」シカゴ美術館(シカゴ)

|O 「PRESENCEOR ABSENCE」Frist Center for theVisualArts (ナッシュビル)

2014 「光一呼吸 そこにいる、そこにいない」東京都写真美術館(東京)

2015 第65回芸術選奨文部科学大臣賞受賞 第31回東川賞国内作家賞受賞

2022 「八戸マジックランタン」 八戸市美術館

その他カメラの仕組みを使ったプロジェクトを 90 年代より続けている。

現 在 東京藝術大学美術学部先端芸術表現科教授、土門拳記念館館長

SYUTA (三友周太)

1967 米国 NY に生まれる

991 東京薬科大学薬学部卒 薬剤師免許取得

19<mark>99</mark> 外資系の製薬会社にて新薬開発に携わる傍ら表現活動を始める

2004 佐藤時啓氏との出会いをきっかけにサイトシーイングバスカメラプロジェク

トの運営に関わる

2005 ギャラリー銀座芸術研究所 (G3) ディレクター (現 ART LAB Tokyo/A.S.K.)

2010 アートコンペティション「龍門」特別賞受賞(東京)

2017 武蔵野アール・ブリュット展監修(東京都・武蔵野市)

2019 第9回バレンシアビエンナーレ入賞 (スペイン)

現 在 ART LAB Tokyo/A.S.K. ディレクター

石上城行 IWAGAMI SHIROYUKI

1968 東京都に生まれる

1995 東京藝術大学大学院美術研究科修士課程修了

999 第 14回 富嶽ビエンナーレ展(静岡県立美術館、静岡市)準大賞受賞

2003 大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ 2003 (越後妻有 6 市町村、

新為宗

2006 島の写真屋アートプロジェクト(旧渡<mark>辺</mark>写真<u>館 倉庫</u>ギャラリー、松江市)

2015 上賀茂・千年アート展(上賀茂神社境内、京都市)

2018 <u>石</u>上城行展 - 記憶にふれるとき - (川越市立美術館、埼玉県)

現 在 埼玉大学教育学部教授、アーツカウンシルさいたまアドバイザリーボード

JBUS BANGAROA

●「カメラ空間体験バスツアー」についてのお問い合わせ:石上城行(埼玉大学教授) TEL:090-5264-4335 ●「さいたま国際芸術祭 2023」についてのお問い合わせ 主催:さいたま国際芸術祭実行委員会 協力:埼玉大学、東京藝術大学、エム・ビー観光バス、株式会社タムロン